



「住まい手価値」を追求し 次代が求める暮らしのあり方を発信

当社の環境技術を結集した 「エコ・ファーストパーク」開設

積水ハウスは、1999年に「環境未来計画」を発表して以来、人にも地球にもやさしい永く住み継がれていく住環境の創造をめざしてきました。例えば、日本の伝統的家屋に見られる縁側や通気天窓などを設けた「サステナブル デザイン ラボラトリー」を都市部の住宅地に建設し、自然と調和した暮らしのあり方を検証。また、自然とネットワークテクノロジーを融合させた日本型スマートハウス「観環居」の提案にも取り組みました。

今年5月には、これら実証実験住宅の他「ゼロエミッションハウス」等を集結させた「積水ハウスエコ・ファーストパーク」を開設。これまで当社が研究・開発してきた環境配慮設計や技術を体感していただけるとともに、地球環境を守るために住まいが果たすことができる役割について、楽しく学べる場となっています。ワークショップなども開催し、

次世代育成にも活用。業界初の「エコ・ファースト企業」として、これからの時代に求められる暮らしのあり方を発信し続けていきたいと考えています。

住まいづくりから さまざまな社会課題解決に挑む

私は、環境事業に基づくさまざまなプロジェクトに参加し、商品の開発や設計に数多く携わってきました。その中で常に意識していたのは、生活者としての感覚です。科学的な分析や検証にとどまらず、実際に建設した実験住宅で暮らしたり、先進設備を使用したりすることで、「住まい手価値」を追求。この考えは、当社のユニバーサルデザインやキッズデザイン「コドモイドコロ」の設計思想にも反映されています。現在、戸建て住宅はもちろん、集合住宅や街づくりプロジェクトなどにも導入。自治体や企業などと共同で、少子高齢化や待機児童対策といった社会課題の解決に向けた取り組みも進めています。

女性の活躍を推進する当社においても、商品開発や設計における女性の割合は高く、私のグループでは半数が女性です。「住まい手価値」を追求するためには、女性の感性や経験が必要不可欠と言えるでしょう。これからも、女性技術者のモチベーションを高める体制づくりを推進するとともに、キッズデザインを中心とする当社技術を社外や海外に向けて紹介・発信することで、企業価値の強化に努めていきます。

9年連続「キッズデザイン賞」受賞

キッズデザイン賞とは、子どもや子育てへの配慮がなされた安全・安心で良質な製品や施設、サービス、調査研究活動などを対象とした顕彰制度です。積水ハウスは第9回キッズデザイン賞において、「江東湾岸サテライトスマートナーサリースクール」「共助を取り入れた子育てしやすいまちづくり」など、4部門で計7点のキッズデザイン賞を受賞。当賞の創設以来、9年連続の受賞を達成しました。



りん
凛と、笑顔で、輝く
自分らしさを力にし、キャリアアップを目指す
積水ハウスの女性たち。
住まいづくりのプロとして活躍しています。



穂本 敬子
積水ハウス
技術部 技術渉外グループ 部長
あきもと・たかこ / 1984年入社。設計手法・
研修の開発や新商品の開発・設計、快適性
研究等に幅広く携わる。2010年から現職。
一級建築士。

①②③2015年4月に開園した「江東湾岸サテライトスマートナーサリースクール」。「コドモイドコロ」が随所に盛り込まれている。④⑤緑側空間を効果的に活用した「サステナブル デザイン ラボラトリー」。⑥先進のネットワークと自然が融合した「観環居」。



女性が活躍できる機会と環境整備を推進する企業として、東京証券取引所と経済産業省が選定する「なでしこ銘柄」。積水ハウスは、2013年2月に住宅・建設業界で初めて選ばれ、15年3月に再び選定されました。



積水ハウスは「日経ウーマノミクス・プロジェクト」を応援しています。
Q 日経ウーマノミクス・プロジェクト

積水ハウス株式会社

本社 / 〒531-0076 大阪市北区大淀中1丁目1番88号 梅田スカイビル <http://www.sekisuihouse.co.jp>

〈企画・制作〉
日本経済新聞社クロスメディア営業局

広告